

# 深作 拓郎（ふかさくたくろう）

茨城県大洗町生まれ

1998年 茨城大学大学院教育学研究科修士課程修了 教育学修士

茨城県大洗町教育委員会、美野里町（みのり）役場に勤務。

社会教育行政やまちづくりを担当。特に美野里町では、住民主体型の文化センター整備事業に携わる。

2001年 法政大学非常勤講師

2004年 早稲田大学大学院文学研究科博士課程 研究生修了

2004年 埼玉純真女子短期大学 専任講師

2009年 弘前大学生涯学習教育研究センター講師

現在 弘前大学生涯学習教育研究センター 講師

岩手大学教育学部 非常勤講師

青森県放課後子どもプラン推進委員会委員

その他

これまでに、財団法人地域創造「公共ホール音楽活性化事業」アドバイザー（2002～05）

社会教育推進全国協議会常任委員（2005～09）・全国委員（2009～現在）

茨城県県政モニター（2002～04）

『月刊社会教育』（国土社）編集協力委員（2008～現在）

『子ども白書』（草土文化）編集協力委員（2008～現在）

青森市放課後子どもプラン推進委員会委員

青森県地域の子育て支援体制モデルづくり委員

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム企画運営委員長

弘前市まちなか子育て支援センター検討懇談会 会長

専門 社会教育学、子ども学

主な著書 『地域で遊び、地域で育つ子どもたちー遊びから「子育て支援」を考える』

（代表編著：学文社、2012年）

『社会教育・生涯学習ハンドブック』（編著：エイデル研究所、2011年）

『なぜ、今「子育て支援」なのか』（編著：学文社、2008年）

『子育て支援の創造』（編著：学文社、2005年）

『文化がみの～れ物語』（編著：茨城新聞社、2002年）

その他

子どもの成長・発達を主体に据えた「子育て」というスタンスに立ち、放課後の遊びや児童館、放課後児童クラブ、地域子ども教室、おやこ劇場、子ども会などの実践を研究している。その流れから、育児支援へもフィールドが広まり、地域のパパ・ママたちの育児支援についての研究も行っている。